

ツキノワグマによる人身事故防止のために

春先から初夏にかけて、ハイキングや山菜採りなどで山に入るとクマとの出会いがしらの事故が発生することがあります。
山に入るときは、次のことに充分ご注意ください。

山に入るとき注意事項

音の出るものを身につける 〔クマに人の存在を知らせる〕

- ・鈴やラジオを携帯する
- ・複数人で話をしながら行動する

山野にゴミを捨てない 〔クマを執着させない〕

- ・弁当の残りや飲料水の容器は必ず持ち帰る

周囲の状況に気を払う

- ・山林内では周囲の状況にも充分注意する
(山菜採りなど夢中になりがち)

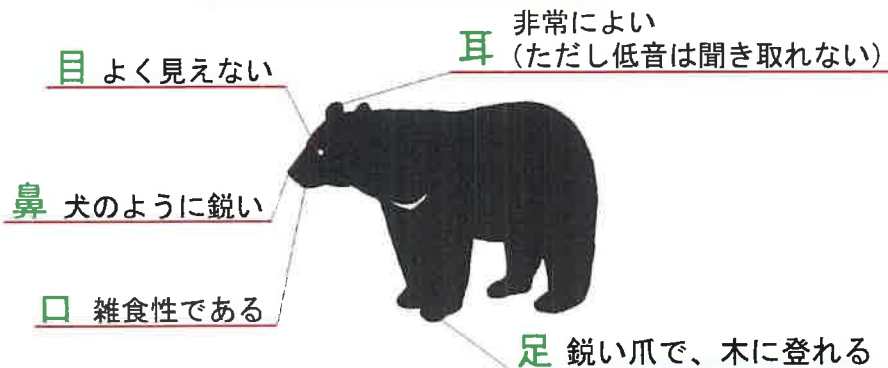
子グマにも注意

- ・子グマでも大変危険
- ・母グマは本能的に子グマを守るため襲ってくることもある

それでも出会ってしまったときは

- ・クマを驚かせない
- ・クマに背を向けず、後ずさりして立ち去る

クマの生態特性



- ◆クマは嗅覚、聴覚が特に発達している。
- ◆子グマがいれば、近くに母グマがいる可能性が高い。
- ◆大柄で鈍そうに見えるが、山の中では人間よりも俊敏で、木に登ることもできる。
- ◆夜明け前、夕暮れ時など薄暗い時間帯に行動することが多い。

季節ごとの行動

春：冬眠から目覚める（4月上旬頃）

山菜などを食べる（5月頃）

夏：繁殖（交尾）をする（6～7月頃）

※このころクマの行動域が広がる

※ハイキングや
山菜採りなどで
山に入った人が
出会う危険性大

秋：冬眠準備のため木の実・果樹などの食べ物を探し回る

※食べ物を求めて人里まで降りてくることあり（柿・栗等）

冬：穴の空いた木や、木の根本に穴を掘り、冬眠する

※一部のメスは、冬眠中に1～2頭出産する

クマを目撃した時は、最寄りの市町まで連絡願います。

ツキノワグマによる人身事故防止のために

今年は、ツキノワグマの主要な餌であるブナ、ミズナラ、コナラの実(ドングリ類)の凶作が予想されています。このため、クマが食料を求めて人家や納屋、果樹などにやって来る可能性が高まっています。

クマを集落や農地に寄せ付けないよう、また、ふいにクマに遭遇しないよう、特に次の点に注意しましょう。



！クマを近づけないためのポイント！

1 ゴミを屋外に置かないようにしましょう

ゴミ(特に生ゴミ入りのもの)はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置もしないようにしましょう。

2 食料は、クマに気づかれないところに収納しましょう

匂いに敏感なクマが、屋外や納屋などにある食料に気づけば食べにくる恐れがあります。

クマが気づかないよう、果物、穀物、ペットフードなどは厳重に保管してください(納屋・倉庫などの戸締りもしっかりとしましょう)。

今年は柿の実も不作と予想されますので、上記2点については、特に注意しましょう(柿がなければゴミや人間の食料を食べようとする可能性があります)。

3 果実は早めに収穫しましょう

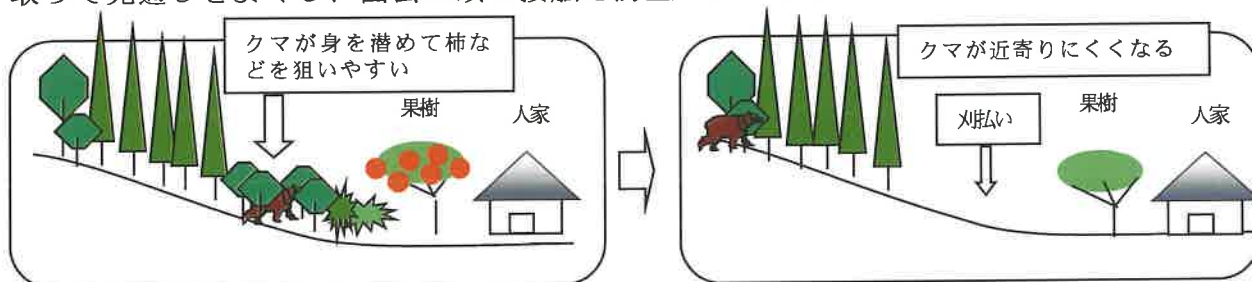
クマの好物である柿や栗は早めにもぎ取って処分しましょう。

販売用などで必要な場合は、木の根元にトタンを巻くか、電気柵で周囲を囲むようにしましょう。



4 できるだけヤブや草むらを刈り取りましょう

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブや草むらがある場合は、できる限り刈り取って見通しをよくし、出会い頭の接触を防止しましょう。



森林や森林の近くに行くときは音の出るものを携行しましょう

山や森林付近の農地に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身に付けましょう。

特に雨の日や川沿いの場所では、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいため、大きな音を出して人間の存在を知らせましょう。



人里でも夕方から朝までの外出は特に注意しましょう

クマは夕方から早朝の間に人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、絶対に柿の木や栗の木の近くなどクマがいそうな所に近づかないでください。

クマを目撃したら

クマを目撃した場合は、最寄りの市役所、町役場に報告をお願いします。